



PORSCHE



パナメーラ4 E-ハイブリッドおよびパナメーラ エグゼクティブモデルのローンチイベント

プレスキット

目次

概要:パナメーラ4 E-ハイブリッドとホイールベースを延長したパナメーラ エグゼクティブ

独自のスポーツカー：効率性と豪華さを備えたパナメーラのダイナミクス

3

パナメーラ エグゼクティブ:後席乗員のための最上空間

3

モデルライン:ラグジュアリーサルーンのスポーツカー

4

パナメーラ4 E-ハイブリッド

持続可能性とパフォーマンス- ポルシェにとっての必然

5

純粋な電気駆動による50kmの航続距離

5

ポルシェ918スパイダーをベースにした新しいハイブリッド戦略

5

新しいハイブリッドモジュールと高速シフトの8速PDK

6

ハイブリッド専用ディスプレイを備えたポルシェ・アドバンストックピット

6

「ハイブリッドオート」モードにおける究極の効率性

7

新しいポルシェ パナメーラエグゼクティブモデル

ラウンジスタイルの後席と標準装備のパノラミックルーフ

8

エグゼクティブ全モデルで拡張およびカスタマイズされた装備

8

ハイエンドタブレット付きポルシェ・リアシートエンターテイメント

10

パナメーラ全モデルのためのスポーツデザインパッケージ

11

さらに大きな出力、さらに優れた効率性

新しい3リッター V型6気筒ターボエンジンを搭載したパナメーラとパナメーラ4

12

19インチホイールとLEDヘッドライトを備えたエクステリア装備

12

燃費とCO₂排出量*

13

01/2017

概要:パナメーラ4 E-ハイブリッドとホイールベースを延長したパナメーラ エグゼクティブ

独自のスポーツカー：効率性と豪華さを備えたパナメーラのダイナミクス

ポルシェは、ニューパナメーラのモデルラインの拡張を続けます。パナメーラ4 E-ハイブリッドは918スパイダー スーパースポーツカーのダイナミクスから恩恵を受けます。150mm延長されたホイールベースを備えるエグゼクティブモデルは、モデルラインのトップエンドでボディと装備を強化します。ショーファードリブンのサルーンとして設計されたこのポルシェには、4WDバージョンのパナメーラ4エグゼクティブ(243kW/330PS)、パナメーラ4 E-ハイブリッドエグゼクティブ(340kW/462PS)、パナメーラ4Sエグゼクティブ(324kW/440PS)、およびパナメーラ ターボエグゼクティブ(404kW/550PS)が用意されています。

パナメーラ4 E-ハイブリッドは、性能志向のハイブリッド駆動と持続可能なE-モビリティ、そしてダイナミックなスポーツ性と贅沢な走行快適性の魅力的な組み合わせを提供します。

ガソリンと電気による2つのパワートレインを備えたグランツーリスモは、独自の方法で「バランス」を再定義します。つまり一方では、新しい2.9リッターV型6気筒ツインターボエンジンと電気モーターの組み合わせが、最高出力340kW(426PS)と、静止状態から直ちに使用可能な911ターボに匹敵する700N・mの最大トルクを発生します。これは素晴らしいドライビングプレジャーを保証するとともにわずか4.6秒の0-100km/h加速タイム(ブースト機能を使用)を可能にします。他方では、純粋な電気駆動のみによる航続距離は約50kmに達し、平均燃費(NEDC)はわずか2.5リッター/100kmに低減されます。

パナメーラ エグゼクティブ：後席乗員のための最上空間

ニューパナメーラ エグゼクティブモデルは、ロングホイールベースを備えたグランツーリスモのラグジュアリーバージョンで、ダイナミックな性能と抜群の快適性を兼ね備えます。このロングバージョンによって、ポルシェは後席に最大のスペースを必要とする顧客のニーズを満たします。4つの全モデルが150mm延長された同じボディを共有し、特に後席乗員にメリットをもたらします。追加のスペースによってレッグルームが拡張され、快適性をいっそう高めます。さらに、エグゼクティブ全モデルの装備が強化されています。標準装備には、アダプティブエアサスペンション、パノラミックルーフシステム、リアのコ

ンフォートヘッドレスト付電動コンフォートシート、フロントとリアのシートヒーター、およびリアのロールアップサンブラインドなどが含まれます。パナメーラ4Sエグゼクティブとパナメーラ ターボエグゼクティブにはより広範な標準装備が備わります。

モデルライン：ラグジュアリーサルーンのスポーツカー

モデルラインに関しては、2016年の夏に完全に再開発された第2世代のパナメーラが導入されました。最初にパナメーラ4S(324kW/440PS)、パナメーラ4Sディーゼル(310kW/422PS)、パナメーラ ターボ(404kW/550PS)の3台の4WDがデビューしました。その後、6気筒ターボエンジン(243kW/330PS)を搭載したパナメーラおよびパナメーラ4の標準モデルとともに、パナメーラ4 E-ハイブリッド、エグゼクティブ モデルが続きました。これらの追加によって、ポルシェ パナメーラのモデルラインには、現在330PSから550PSまでの10モデルが揃います。

パナメーラ4 E-ハイブリッド

持続可能性とパフォーマンスー ポルシェにとっての必然

ポルシェにおいて「ハイブリッド」という言葉は、持続可能なモビリティであるだけでなく、特に2015年と2016年のル・マン24時間レースにおける919ハイブリッドの勝利によって実証されたように、パフォーマンスも意味します。パナメーラ4 E-ハイブリッドもこのような理念によって定義されています。ガソリン・エレクトリックのグランツーリスモは、システム最高出力340kW(462PS)を発生しながら、燃料消費量(NEDC)はわずか2.5リッター/100km、CO₂排出量は56g/kmです。

純粋な電気駆動による50kmの航続距離

新しいポルシェのプラグインハイブリッドは、常に純粋なエレクトリックモードで発進します。パナメーラ4 E-ハイブリッドは、ゼロエミッションのエレクトリックシステムのみで走行するとき、航続距離は50kmにおよび最高速度は140km/hに達します。その一方で、このパナメーラはラグジュアリーサルーンのスポーツカーです。最高速度は278km/h、静止状態から最大トルク700N・mを発生します。0-100km/h加速タイムはわずか4.6秒で、標準装備される3チャンバーエアサスペンションが快適性とダイナミクスの間の最適なバランスを保証します。

ポルシェ918スパイダーをベースにした新しいハイブリッド戦略

最高の性能に偶然はありません。ニューパナメーラ4 E-ハイブリッドは、このセグメントでかつてなかったハイブリッド戦略を備えます。それは918スパイダーに基づく戦略です。最高出力652kW(887PS)の918スパイダーは、ニュルブルクリンクのノルドシュライフェを最速で周回する市販車です。その6分57秒の記録的なラップタイムは、2つの電気モーターによる追加の出力にも起因します。

918スパイダー同様に、パナメーラの電気モーターがもたらす100kW(136PS)の出力と400N・mのトルクは、ドライバーがアクセルペダルを踏み込んだ瞬間から使用することができます。先代モデルでは、電気駆動による追加の出力を得るにはペダルを80%以上踏み込む必要がありました。現在のモデルは、最初から電気モーターとガソリンエンジンが完全に調和しながら相互に作用します。918スパイダ

一同様に、常に追加の出力のために電気モーターを使用することができます。そのため、新しい2.9リッターV型6気筒ツインターボエンジン(243kW/330PS/450N・m)の性能特性に合わせて電気モーターとターボチャージャーが最適なブーストを発揮します。

パナメーラ4 E-ハイブリッドの電気エネルギーは最高速度も引き上げます。ポルシェにおいてこの新タイプの「E-パフォーマンス」(さらに大きな出力、ドライビングプレジャー、そして低燃費)は、未来のパフォーマンスキットと見なされています。

新しいハイブリッドモジュールと高速シフトの8速PDK

V型6気筒ガソリンエンジン デカプラーと組み合わせた電気モーターは、新世代ポルシェ ハイブリッドモジュールの先駆けとなります。先代の電気油圧式システムとは異なり、ニューパナメーラのデカプラーは、エレクトリッククラッチアクチュエーター(ECA)によって電気機械的に作動します。このメリットは、さらに短いレスポンスタイムです。他の第2世代パナメーラ モデルと同様に、新しい高速高効率シフティングの8速ポルシェ・ドッペルクップリング(PDK)がパワーを4輪に伝えます。このPDKが先代のトルクコンバーター8速オートマチックトランスミッションに代わります。電気モーターは水冷式リチウムイオンバッテリーによって電力が供給されます。さらに、バッテリー(ラゲッジコンパートメントフロア下に搭載)は、重量を維持したままエネルギー容量が9.4kWhから14.1kWhに増加しています。

高電圧バッテリーは従来の230V、10A接続を介してわずか5.8時間で完全に充電できます。パナメーラに標準装備される3.6kWチャージャーの代わりに、オプションの7.2kWオンボードチャージャーと230V、32 A接続を使用するとわずか3.6時間で完全に充電されます。ポルシェ・コミュニケーションマネージメントシステム(PCM)やポルシェ・コネクタアプリ(スマートフォンとApple Watch用)を介してタイマーで充電を開始することもできます。さらに、パナメーラ4 E-ハイブリッドには、充電中に車内を冷房または暖房するための補助エアコンも標準装備されます。

ハイブリッド専用ディスプレイを備えたポルシェ・アドバンストコックピット

第2世代パナメーラのハイライトのひとつが、タッチセンサー式パネルと個々に設定可能なディスプレイを備えた標準装備のポルシェ・アドバンストコックピットです。これは新設計のディスプレイおよび制御コンセプトで、アナログレブカウンター両側の2つの7インチタッチスクリーンがインタラクティブなコックピットを形成します。モデルラインの他のバージョンとは異なり、パナメーラ4 E-ハイブリッドにはハイブリッドの作動に合わせたパワーメーターが装備されます。

ハイブリッド専用ディスプレイの直感的な操作原理は、ポルシェ918スーパースポーツカーで使用されているものとほぼ同じです。パワーメーターは、現在使用中の電気エネルギー量やエネルギー回生量などのデータを表示します。

12.3インチタッチスクリーンは、PCMのコントロールおよびディスプレイ中央ユニットとして機能します。ダッシュボードとメーターパネルの両方からハイブリッド専用情報の各項目にアクセスすることができます。ブーストアシスタントとハイブリッドアシスタントが、実用的な情報を提供します。ブーストアシスタントはブースティングに利用可能なエネルギーを表示し、ハイブリッドアシスタントは、電気駆動のパワーを制御するための各種視覚信号を提供します。

「ハイブリッドオート」モードにおける究極の効率性

ステアリングホイールに組み込まれたモードスイッチを含むスポーツクロノパッケージが、パナメーラ4 E-ハイブリッドに標準装備されます。各ドライビングモードは、モードスイッチとポルシェ・コミュニケーションマネジメントシステムを使用して作動します。これらのモードには、他のパナメーラモデルのスポーツクロノパッケージ仕様車と同様の「スポーツ」と「スポーツ・プラス」モード、ハイブリッド専用の「E-パワー」、「ハイブリッドオート」、「E-ホールド」、および「E-チャージ」が含まれます。

パナメーラ4 E-ハイブリッドは、常に純粋な電気駆動の「E-パワー」モードで発進します。完全に新開発された「ハイブリッドオート」モードを選択すると、最高の効率性を得るために自動的に駆動システムの切り替えと組み合わせを行います。「E-ホールド」モードは、目的地（環境保護区域など）で電気駆動に切り替えてゼロエミッション走行をするために現在の充電状態を維持します。「E-チャージ」モードは、V6エンジンによってバッテリーを充電します。そのためにガソリンエンジンは通常の走行に必要な出力より大きな出力を発生します。

「スポーツ」と「スポーツ・プラス」モードにすると、最高水準のドライビング性能を使用することができます。このモードではV6ツインターボが連続的に作動します。「スポーツ」モードでは、バッテリーの最低レベルの充電が常に維持され、必要なときにe-ブーストの十分な予備容量を保証します。最高の性能のために使用されるのが「スポーツ・プラス」モードで、278km/hの最高速度に達します。さらに、V6ツインターボエンジンを用いてできる限り迅速にバッテリーを充電することもできます。

新しいポルシェ パナメーラエグゼクティブモデル

ラウンジスタイルの後席と標準装備のパノラミックルーフ

初代ポルシェパナメーラからエグゼクティブバージョンが用意されました。ニューポルシェパナメーラ エグゼクティブは、先代同様にホイールベースが150mm延長されて3100mmに、全長が5049mmから5199mmに増加しています。これによってレッグルームが最大110 mm、傾きが40 mm拡がり、後席がいわゆるエクスクルーシブなラウンジとなります。

延長されたパナメーラのデザインは、ショートバージョン同様にエクスクルーシブでパワフルです。これは主に、両ボディバージョンがともに、ポルシェのエクステリアデザイン主任のペーター・ヴァルガの指揮の下で開発されたことによります。つまり、パナメーラ エグゼクティブは、後から思いつきで製造された延長モデルではありません。ショートバージョンと調和するように設計されたセカンドボディバージョンです。延長はリアドアに集中しており、その結果ルーフラインが変更されています。特に目立つ広がったサイドウインドウのラインがエレガントな外見に寄与しています。ホイールベース同様に150mm延長されたドアは、後席乗員の乗降を容易にします。さらに、リアシートの調節範囲が広がり快適性が高まります。

エグゼクティブ全モデルで拡張およびカスタマイズされた装備

ロングホイールベースに加えて、パナメーラ4、パナメーラ4 E-ハイブリッド、パナメーラ4S、およびパナメーラ ターボの4つのエグゼクティブモデルは、拡張およびカスタマイズされた標準装備によってモデルラインの他の車から区別されます。エグゼクティブモデルのエクステリアは、モデル専用の微細ながらもエレガントな装飾によって識別されます。両サイドのドアシルには、フロントフェンダーのエアアウトレットトリムにマッチしたハイグロスシルバーのストリップが追加されます。フロントのエアインテークにもハイグロスシルバーのデコラティブストリップを備えます。さらに、中国仕様と米国仕様のエグゼクティブモデルはCピラーに“Executive”ロゴが装着されます。

最新世代のロングホイールベースのパナメーラ全モデルに、透明なパノラミックルーフが標準装備されます。このルーフは全長1780mm、全幅1200mmで、これまでポルシェに装備された最大のガラスルーフとなります。ルーフ前部のチルトアップと全開が可能です。透明ルーフを車内の2枚ブラインドで覆うこともできます。

パノラミックルーフに加えて、4つのエグゼクティブ全モデルに、ポルシェ・アクティブサスペンション・マネージメントシステム (PASM) を含む3チャンバーテクノロジーのアダプティブエアサスペンションが装備されます。拡張された標準装備には、リアのマルチウェイ電動調節式コンフォートシートとコンフォートヘッドレスト、フロントとリアのシートヒーター、および後席ヘッドレスト後方のロールアップサンブラインドが含まれます。オプションのマッサージ機能も4つの全てのシートに用意されています。これは5つのプログラムと5段階の強さから選択してスイッチを押すと、各バックレストの10個のエアクッションが背中を揉みほぐします。

パナメーラ4Sエグゼクティブとパナメーラターボエグゼクティブの装備はさらに充実しています。これらのモデルには、パナメーラ専用開発されたリアアクスルステア、パワーステアリング・プラス、リアビューカメラを含むパークアシストシステム、および自動クロージング機構を備えたソフトクローズドアが装備されます。トップモデルのパナメーラターボエグゼクティブには、4ゾーンクライメートコントロール、そしてダイナミックヘッドライトレベリング、ダイナミックコーナリングライトおよびアンビエントライトを含むポルシェ・ダイナミック・ライトシステム (PDLS) を含むLEDヘッドライトも装備されます。

エグゼクティブモデルのエクスクルーシブオプションとして、スマートフォンストレージとインダクティブアンテナインターフェースを追加した大型センターコンソールをオーダーすることができます。市場によっては、使用しないときには格納できる航空機スタイルの折り畳みテーブルをこのセンターコンソールに装着することも可能です。

エグゼクティブモデルは、ホイールベースの延長と85kgの車両重量の増加にもかかわらず、標準長のパナメーラモデルとほぼ同じ卓越した性能と燃費の数値となっています。

エグゼクティブモデルの概要データは以下をご覧ください(最高速度; ローンチコントロールを含むスポーツクロノパッケージ非装着/装着の0-100km/h加速タイム; 燃料消費量<新欧州ドライビングサイクル、複合>)

パナメーラ4エグゼクティブ： 262km/h; 0-100km/hタイム5.6秒/5.4秒; 7.8リッター/100km

パナメーラ4 E-ハイブリッドエグゼクティブ： 278km/h; 0-100km/hタイム4.7秒;

2.5リッター/100km、エネルギー消費量15.9kWh/100km

パナメーラ4Sエグゼクティブ： 289km/h; 0-100km/hタイム4.5秒/4.3秒; 8.2リッター/100km

パナメーラ ターボエグゼクティブ： 306km/h; 0-100km/hタイム3.9秒/3.7秒;

9.4リッター/100km

ハイエンドタブレット付きポルシェ・リアシートエンターテイメント

パナメーラ全モデルのリアシートにおけるハイライトが新開発のポルシェ・リアシートエンターテイメント (RSE) です。特にショーファードリブンとして使用されるエグゼクティブモデルの場合は、リアシートエンターテイメントの卓越した接続性によって便利なハイテクの仕事場を得ることになります。家族と一緒の長距離走行時には、お子様もオプションの多機能な装備で楽しむことができます。

ポルシェ・リアシートエンターテイメントの中心は2台の10.1インチタッチスクリーンです。フロントシートのバックレストに取り付けたこれらの高解像度反射防止ディスプレイ(1920×1200ピクセル)は、車外でも使用できます。ディスプレイは、パナメーラのインテリアにマッチするデザインの頑丈で高品質な2台の機能的なタブレットです。

Androidオペレーティングシステムを使用するパナメーラのリアシートエンターテイメントは、32 GBの内蔵フラッシュメモリーを備え、micro SDカードで拡張することが可能です。タッチスクリーンにはビデオ通話とチャットのためのカメラも装着されています。サウンドは、タッチスクリーンのスピーカー、車両サウンドシステム、またはポルシェBluetooth®ヘッドフォンで再生されます。

広範なデジタルソースの使用が可能で、SDカード、Jukebox、CD/DVDドライブ、USBスティックでPCMメディアにアクセスできます。後席乗員は、ラジオとオプションのテレビチューナーの操作や、現在のナビゲーションルートと追加情報、車両データの表示も可能です。ポルシェ・リアシートエンターテイメントは、ポルシェ・コミュニケーションマネージメント (PCM) のナビゲーションシステムの目的地の入力もできます。後席乗員はGoogle® Playストアの全てのコンテンツにアクセスすることができるので、リアシートエンターテイメントの機能範囲はほぼ無限です。

リアシートエンターテインメントは、タッチスクリーン、あるいはフロントシートのPCMから操作できます。後席乗員は通常タッチスクリーンで操作することになります。従来のポルシェ同様に、ポルシェ・リアシートエンターテインメントの操作も簡単で説明を要しません。サブメニューから画面下部中央のホームボタンにタッチするといつでもメインメニューに戻ります。ディスプレイ左側の縦のツールバーは、MEDIA、SOUND、NAV、APPS、CARおよびSETTINGSの各メニューへのアクセスに使用されます。自由に構成可能なタイル表示によって、表示する情報を独自にレイアウトすることができます。たとえば、メディアプレーヤー、選択した丸型メータ（エンジン回転数、車速、コンパスなど）、インターネット、およびナビゲーション地図などを多彩なタイルでひとつの画面に表示できます。

パナメーラ全モデルのためのスポーツデザインパッケージ

ポルシェは、現行の第2世代パナメーラ全モデルと同様に、ニューエグゼクティブモデル専用のスポーツデザインパッケージを提供します。パッケージには、ブラックのエアインテークとC-ブレードを備え個々に設計されたボディカラー同色塗装のスポーツデザインフロントエンド、スポーツデザインサイドスカート、およびブラックのリアディフューザーを備えたボディカラー同色塗装のスポーツデザインリアエプロンが含まれます。ブラックエレメントは、サテンフィニッシュまたはハイグロスフィニッシュを注文することができます。フロントのナンバープレートホルダーはボディカラー同色塗装となります。スポーツデザインサイドスカートは単品も用意されています。

さらに大きな出力、さらに優れた効率性

新しい3リッター V型6気筒ターボエンジンを搭載したパナメーラとパナメーラ4

新開発の3リッター V型6気筒エンジンがエントリーレベルのパナメーラ エンジンに追加されています。俊敏な6気筒エンジンは、パナメーラでは後輪のみを駆動し、パナメーラ4では4輪を駆動します。全モデルのエンジンが8速ポルシェ・ドッペルクップリング(PDK)に連結します。ニューグランツーツーリスモの他の全てのエンジンと同様に、このV6もダイレクト・フューエル・インジェクションのターボエンジンで、先代の自然吸気エンジンを20PS上回る最高出力243kW(330PS)/5400–6400rpmと1340rpmの低回転域から最大トルク450N・m(先代は400N・m)を発生します。V6ターボは先代のV6自然吸気エンジンより遥かに応答性に優れ、出力とトルクが改善されているにもかかわらず、燃料消費量は約1.0リッター/100km削減されています。

ニューパナメーラ モデルの概要データは以下をご覧ください(最高速度、ローンチコントロールを含むスポーツクロノパッケージ非装着/装着の0-100km/h加速タイム; 燃料消費量<新欧州ドライビングサイクル; 複合>)

パナメーラ : 264km/h; 0-100km/hタイム5.7秒/ 5.5秒; 7.5リッター/100km

パナメーラ4 : 262km/h; 0-100km/hタイム5.5秒/ 5.3秒; 7.7リッター/100km

19インチホイールとLEDヘッドライトを備えたエクステリア装備

新しいポルシェパナメーラとパナメーラ4は、フロントフェンダーのハイグロスブラックのエアアウトレットトリムとブラックカラーのブレーキキャリパーを備えます。先代の18インチ軽合金製ホイールに対してV6ニューモデルには19インチが標準装備されます。マットブラックのサイドウィンドウストリップ、LEDヘッドライト、4灯のLEDデイトタイムランニングライト、ポジションライトとインジケーターライトを備えたLEDフロントライトモジュール、自動ウエルカムホームライト付ドライビングライトアシスタント、4灯のブレーキライトを備えた立体的なLEDテールライト、リアのフルレンジのライトストリップ、さらにミラーハウジングのアンビエントライトも標準装備されます。

機能面のエクステリア標準装備には、フロントウインドウワイパーのレインセンサー、電動格納式ドアミラー、および電動開閉テールゲートが含まれます。さらに、駐車操作時の障害物を視覚表示と警告音で知らせるパークアシストシステムが車両のフロントとリアに装備されます。

燃費とCO₂排出量*

パナメーラ:複合燃費7.6–7.5リッター/100km、市街地9.8–9.7リッター/100km、
郊外6.3リッター/100km、CO₂排出量:173–171g/km

パナメーラ4:複合燃費7.8–7.7リッター/100km、市街地9.9–9.8リッター/100km、
郊外6.5–6.4リッター/100km、CO₂排出量:177–175g/km

パナメーラ4 エグゼクティブ:複合燃費7.9–7.8リッター/100km、市街地10.0–9.9リッター/100km、
郊外6.7–6.6リッター/100km、CO₂排出量:180–178g/km

パナメーラ4S:複合燃費8.2–8.1リッター/100km、市街地10.2–10.1リッター/100km、
郊外6.8–6.7リッター/100km、CO₂排出量:186–184g/km

パナメーラ4S エグゼクティブ:複合燃費8.3–8.2リッター/100km、
市街地10.4–10.3リッター/100km、郊外6.9–6.8リッター/100km、CO₂排出量:189–187g/km

パナメーラ4S Diesel:複合燃費6.8–6.7リッター/100km、市街地7.9リッター/100km、
郊外5.9–5.8リッター/100km、CO₂排出量:178–176g/km

パナメーラ ターボ:複合燃費9.4–9.3リッター/100km、市街地12.9–12.8リッター/100km、
郊外7.3–7.2リッター/100km、CO₂排出量:214–212g/km

パナメーラ ターボエグゼクティブ:複合燃費9.5–9.4リッター/100km、
市街地13.1–12.9リッター/100km、郊外7.4–7.3リッター/100km、CO₂排出量:217–215g/km

パナメーラ 4 E-ハイブリッド:複合燃費2.5リッター/100km、
エネルギー消費量15.9kWh/100km、CO₂排出量56g/km

パナメーラ 4 E-ハイブリッドエグゼクティブ:複合燃費2.5リッター/100km、
エネルギー消費量15.9kWh/100km、CO₂排出量56g/km

* 使用するタイヤセットに応じた範囲

※仕様は国によって異なることがあります。